

特許の成果

2005年の新規登録権利の中から、他社への実施許諾が予測されるものなどを、成果の一端として紹介する。

□特許第3631407号

「非水電解質二次電池」

発明者：高見 則雄(他3名)

ラミネート外装材を用いたリチウムイオン二次電池において、ラミネートフィルムとして高融点の熱可塑性樹脂を、セパレータとして熱可塑性樹脂の融点より低い閉塞温度のポリエチレンを使用し、安全性を向上させる。

□米国特許第6,784,509号

「Magnetoresistance effect element, magnetic head and magnetic reproducing apparatus」

発明者：湯浅 裕美(他7名)

CPP-GMR素子において、スペーサー層との界面磁性層に、体心立方晶であるFeCo層と極薄Cu等の積層膜を用いることで、従来材料より大幅に抵抗変化率を向上させることが可能になる。

□特許第3657399号

「移動無線機及びそのアラーム動作制御方法」

発明者：高橋 修

予め設定された所望のスケジュールの日時にアラーム動作が起動している間に通信が発生した場合、そのアラーム動作を停止し、通信動作の終了後、そのスケジュールを表示することにより、スケジュールを確実にユーザに通知することを可能とする。

□米国特許第6,847,950号

「Contents managing method and contents managing apparatus」

発明者：山田 尚志(他5名)

SDMIの基本処理方式で、チェックイン、チェックアウトの具体的な処理方法を実現した。

□特許第3609766号

「情報処理装置」

発明者：大上 圭三(他8名)

キーボードをキーボード載置部に斜めに差し込み、実装した後、キーボードをねじ止め固定する。

□特許第3679899号

「大口径円筒部品の加工装置」

発明者：小茂鳥 岳(他1名)

原子炉炉底部に固定された固定フレーム上で回転駆動される旋回フレームを有し、この旋回フレームに備えた加工ユニットで炉心シュラウド切断撤去後にシュラウドサポートシリンダ端面の機械加工を行うための装置。

□欧州特許第945,826号

「Card Reader/writer and Communication method」

発明者：川岸 敏之

カード処理装置に関し、カードから無線信号を受信したときには非接触式カードとのデータ通信を行い、受信できなかったときには接触式カードに対するデータ通信を行うことにより1台でいづれのカードも処理する。

□特許第3631888号

「札発行装置」

発明者：市川 隆

無線チップが内蔵されたラベル等の札にコンピュータからデータを送信したとき、送信されたデータが印字データである場合には札表面にデータを印字し、送信されたデータが印字データとチップへの書き込みデータである場合、無線チップにデータを書き込むとともに札表面にデータを印字する札発行装置。

□特許第3673120号

「電場発光蛍光体およびそれを用いた有機分散型電場発光素子」

発明者：竹村博文(他3名)

硫化亜鉛を母体とした電場発光蛍光体において、結晶成長剤としてアルカリ土類金属元素を0.05重量%以下含有し、かつバリウム含有量を0.01重量%以下にしたことを特徴とする。これにより高輝度および長寿命の電場発光蛍光体および有機分散電場発光素子(有機EL素子)を提供することを可能とする。

□特許第3655263号

「分散システムおよび同システムの多重化制御方法」

発明者：遠藤 浩太郎

ネットワーク上で複数のコンピュータを連携させ、一つのシステムとして利用するクラスタシステムに関し、各コンピュータが独立して動作してしまうスプリットブレインの発生を回避する。

□特許第3512874号

「X線コンピュータ断層撮影装置」

発明者：信太 泰雄(他2名)

スキャン時間より短時間で画像データを再構成し、この画像データをスキャンから一定時間後に表示するもの。これによって、スキャン動作から断層画像の表示までの時間間隔を等しく保ったまま被検体の実際の動きを再現することができ、リアルタイムで画像をシネ映像のように連続的に表示させることが可能となる。

□特許第3559730号

「貯蔵庫の扉開放装置」

発明者：上野 俊司(他1名)

冷蔵庫扉の電動タッチオープン(扉開放ユニット)に関し、ソレノイド式の扉開放ユニットを用い、扉閉鎖状態で、ソレノイド先端部を扉に接触させることで、小さいストロークで、しかも打撃音なく扉を効率よく自動で開放させる冷蔵庫。

□特許第3669410号

「蛍光ランプ装置」

発明者：安田 丈夫(他1名)

屈曲バルブの幅方向及び点灯回路を搭載する基板の最大径寸法をはじめとして、封入ガス、入力電力等を特定範囲として、発光効率、始動性を向上しつつ電球なみにコンパクトな電球形蛍光ランプを実現した。